

## 地域の郷土資料館と歴史博物館〈古民家〉を活用した昔の暮らし調べ

### 1. 単元名 「山田の昔の暮らしをたずねてみよう」

### 2. 単元目標

昔の暮らしで使われていた道具に関心を持ち、七輪の体験をしたり、横浜市歴史博物館や東山田郷土資料館の見学をしたりして、道具の使い方や変遷、それらに伴う地域の人々の生活の変化などを調べることを通して、昔の人々の知恵や工夫に気付いたり、人々の願いを考えたりする。

また、地域に伝わる虫送りなどの地域行事に関心をもって調べることで、地域の人々がそれらを大切に保存し継承し、地域の発展やまとまりを求める人々の願いに気付くようにするとともに、地域への愛情を深めるようにする。

### 3. 評価規準

#### 【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ・昔の暮らしで使われていた道具やその変遷、地域の人々の生活の変化や地域の人々が受け継いできた虫送りなどの年中行事に関心を持ち、意欲的に調べている。
- ・山田のまちの一員として、虫送りなどの地域に伝わる年中行事を保存し継承することの大切さを考えようとしている。

#### 【社会的な思考・判断・表現】

- ・調べたことを現在の自分たちの生活の様子と比較したり、人々の生活の変化と人々の願いを関連付けたりして、昔の人々の知恵や工夫について考え、適切に表現している。
- ・調べたことをもとに、虫送りなどの年中行事を保存し継承してきた人々の工夫や努力と地域の人々の願いとを関連付けて、保存し継承することの大切さを考え、適切に表現している。

#### 【観察・資料活用の技能】

- ・古くから残る暮らしにかかわる道具の使い方やそれらを使っていた頃の暮らしの様子について、体験をしたり、歴史博物館や郷土資料館を見学したりして情報を集めてカードなどにまとめている。
- ・虫送りなどの年中行事について、見学したり地域の方から聞きとり調査をしたりして、それらを保存し継承してきた人々の取組についての情報を集めてカードなどにまとめている。

#### 【社会的事象についての知識・理解】

- ・古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていた頃の暮らしの様子が分かっている。
- ・地域の人々が受け継いできた虫送りなどの年中行事や、それらを保存し継承してきた人々の工夫や努力が分かっている。

### 4. 単元について

本単元では、子どもたちにとって時間的に隔たりがある昔の学習を、どれだけ身近に感じることができるようになるかが大切である。自分たちが生まれていない時代の学習であり、その当時の生活や工夫を想像することは難しいため、より身近に感じ、想像することができるよう単元を構成

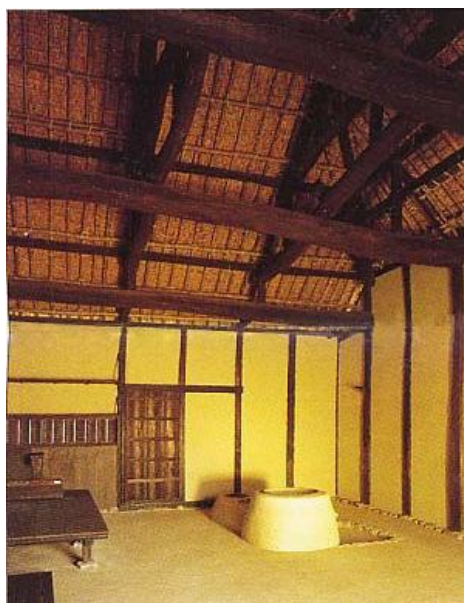
していく必要がある。例えば、七輪の体験を取り入れて、実際に昔の道具を使ってみたり、民家園で火のついた囲炉裏を囲んで暖かさを感じながら説明を聞いたりする活動を取り入れる。また、歴史博物館を見学し、道具の解説をしていただいたり、東山田郷土資料館を見学して、昔使われていた様々な道具を調べたりするなどの活動も考えられる。また、地域の人々が受け継いできた伝統行事については、南山田の無形民俗文化財である虫送り（※）をとりあげ、保存会の人の話を聞くなどの活動が考えられる。これらの活動を通して、子どもたちが教材を身近に感じ、追究意欲を高められるようにしたい。このような体験や人と関わる学習を通して、昔の道具や暮らしにはよさや工夫があり、人々の知恵が働いていることをとらえられるようにするとともに、自分の考えをもったり、昔の人の思いに共感したりできるようにしていきたい。

#### ※虫送り

虫送りは、田畑の害虫を追い払い、豊作を願う伝統行事である。南山田では、一度中断していたが、昭和51年に復活し、平成17年には横浜市指定無形民俗文化財に指定された。南山田虫送り行事保存会が中心となって行っている。お囃子を先頭に、松明を持った人々の行列が続き、行列の終わる夏みかん公園で、松明を集めて燃やす。町内会をはじめ、子供会や消防団、交通安全協会などが関わり、地域の行事をつくりあげている。（参考資料：都筑区役所 HP より）

〈本時で中心に扱う資料〉 都筑民家園（横浜市歴史博物館遺跡公園隣接）


古民家と今の家屋の屋根の形や材料の違いに気付かせたい。



天井が高くなっているこの広い空間で、夜なべ仕事をしていることを知ることができるようにしたい。

土間は外で作業をしたままの服装で入れるように下が土になっていることに気付かせたい。

5. 指導計画（18時間）

主な学習活動と内容	主な資料（●）と教師の支援（◇）等
<p>1. 自分が住む山田の昔のこと、自分の家に昔からあるものなどについて、知っていることを発表する。 (1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まち探検の時に見つけた鎌田堂は昔からありそうだ。</li> <li>・山田神社は古くからあるのではないだろうか。</li> <li>・おじいちゃんの家には七輪という道具がある。</li> <li>・昔の人はどんな生活をしていたのだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>むかしの人はどんなくらしをしていたのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東山田郷土資料館に行けば、昔の道具のことが分かるかもしれない。</li> <li>・昔の道具についてくわしく調べてみよう。</li> </ul> <p>2. 東山田郷土資料館に行き、昔の道具を見学したり、道具の使い方を調べたりする。 (2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなときに使う道具なのか調べよう。</li> <li>・食べるときに使う道具や畑仕事をするときに使う道具などがある。</li> <li>・同じような道具もある。</li> </ul> <p>3. 見学して見つけたことを整理する。 (1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見てきた道具を仲間分けしてみよう。</li> <li>・食べることに関係する道具、田畑の仕事に関係する道具、着るものに関係する道具、生活に関係する道具などにおけられる。</li> <li>・いろいろな道具があるけど、使い方がよく分からない。</li> <li>・実際に使ってみたい。自分たちでできるものは何か。</li> <li>・どうやって使うのか使い方を調べておこう。</li> </ul> <p>4. 七輪の使い方を調べ、実際に七輪を使う体験をする。 (3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七輪に炭を入れて火をつける。</li> <li>・空気を調節することが大切なポイントだ。</li> <li>・七輪でおもちなどを焼いてみよう。</li> <li>・七輪は煙が出るから、風通しの良い所で使っていたようだ。</li> <li>・他に使っていた道具についてもっと知りたいな。</li> </ul>	<p>●地域に昔から残る建造物の写真 ◇まち探検の時に地域に昔から残る建造物を写真に撮っておく。</p> <p>●洗濯板、七輪などの実物 ◇実物または写真等の資料を用意する。 ◇まち探検の段階で、東山田郷土資料館を見つけておき、子どもたちが昔の道具が展示されていることなどに気付けるようにしておく。</p> <p>●東山田郷土資料館にある展示物 ◇郷土資料館の館長さんと連携して、見せてほしい道具や話して欲しいことについて事前に打合せしておく。 ◇七輪を実際に見せてもらい、どんなときに使うのか、使っているときの様子などを話してもらおう。 ◇郷土資料館で見えてきた物を、用途ごとに分類できるように支援する。 ◇見学の際に見せてもらった七輪に注目させ、使い方を調べて、実際に使う活動につなげられるようにする。</p> <p>●七輪の実物または写真</p> <div data-bbox="1166 1462 1406 1686" style="text-align: center;">  </div> <p>◇実際に七輪を使う体験を通して、火をつける大変さを実感する。事前に使い方を自分たちで調べたり、地域の方に教えてもらったりしておく。</p> <p>●かまどの写真 ●古民家の写真</p>

- ・ごはんを作るのにかまどを使っていたらしいよ。
- ・歴史博物館の民家園に行けば分かるかもしれないね。

5. 古民家を見学し、昔の生活の様子についてガイドボランティアさんから話を聞く。※本時2/2 (2時間)

- ・昔は土間でごはんを作っていたらしい。
- ・囲炉裏の周りに家族みんなが集まって過ごしていた。
- ・電気もガスも水道もないけど、工夫して生活していたようだ。

6. 年表に昔と今の生活の様子をまとめる。(2時間)

- ・昔は火をおこさないとごはんが作れないから時間がかかったけど、今は電気やガスを使ってできるから便利になったと思う。
- ・昔は一つ一つの仕事に時間がかかったから、家族みんなで協力していて、それがよかったと思う。
- ・昔も今も家族で力を合わせたり、みんなで楽しく過ごせたりできるようにしていくことが大切だと思う。
- ・まちにもみんなで楽しくできることがあったのだろうか。

7. 虫送りに参加した経験や祭について知っていることを出し合い、虫送りについて調べる。(2時間)

- ・夏休みの前にたいまつを持って歩いた。
- ・虫送り保存会というのがあったようだ。

8. 虫送りについて保存会の方に話を聞く。(2時間)

- ・昔は害虫を追い払う行事だったそうだ。
- ・一度やめていたのに、またやるようになった。

9. 虫送りを受け継いできた人々の努力や工夫を考え、話し合う。(1時間)

- ・昔の行事を残そうとしているのだ。
- ・自分たちもできるだけ参加していきたい。

10. 山田のまちの他の行事や横浜市の伝統行事についてまとめる。(2時間)

- ・東山田では夏に盆踊りをやっている。
- ・横浜市内では蛇も蚊もという伝統行事がある。

◇七輪を使う体験から、他の道具へも関心をもたせる。食事に関する道具のかまどに注目させ、かまどがある昔の家の様子にも関心をもたせる。

◇事前に家族や地域の方から昔の生活の様子やかまどの使い方などについて聞いたり、図書資料等で調べたりしておく。

●古民家の間取り図

●ガイドボランティアの方の話



◇これまでの学習で分かったことをもとに昔と今の生活の様子を比べ、それぞれの良さを見つけながらまとめていけるようにする。

●虫送りの様子の写真

◇虫送り保存会の方と事前に連絡をとり、打合せをしておくことが必要である。また、虫送りは南山田の行事なので、東山田の盆踊りや町内会で行っているどんと焼きを取り上げることも考えておく。


◇歴史博物館と連携して、横浜市の様々な地域で行われている伝統的な行事について調べる。



6. 本時目標

都筑民家園の古民家を見学し、昔の生活の様子についてガイドボランティアさんから話を聞くことを通して、昔の生活の様子について知る。

7. 本時展開 (9 / 18)

学習活動と内容	資料 (●) と教師の支援 (◇) 等
<p>1. 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>昔の家の中では、どんな生活をしていただろうか。</p> </div> <p>2. 古民家の見学をして、疑問に思ったことをガイドボランティアの方に質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かまどが置いてある場所は土だね。</li> <li>・ごはんの準備はどこでしていたのだろう。</li> <li>・ごはんはどこで食べていたのだろう。</li> <li>・囲炉裏の周りにみんな集まっていたのかな。</li> <li>・囲炉裏は暖まる事もできたのかな。</li> </ul> <p>3. ガイドボランティアの方に、昔の生活の様子について話をしていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は土間でごはんを作っていた。</li> <li>・農作業から帰ってきたそのままの服装でごはんの準備ができるようにしてあった。</li> <li>・こんなに広い土間で夜も仕事をしていた。</li> <li>・エアコンやストーブはないけど、囲炉裏の周りは暖かかった。</li> <li>・囲炉裏の周りに家族みんなが集まっていた。</li> </ul> <p>4. 見学をしたり、話を聞いたりしたことから分かったことや思ったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気もガスも水道もないけど、工夫して生活していたようだ。</li> <li>・家族みんなで協力して生活していたようだ。</li> </ul>	<p>◇前時で古民家の中にあるかまどについて観察・調査をして、その使い方や置いてある場所などから昔の生活はどんな様子だったのかについて関心を持たせる。</p> <p>●古民家の間取り図</p>  <p>◇間取り図で確認しながら、実際の家の様子を見学する。</p> <p>◇子どもたちの疑問になりそうなことを予想しておき、あらかじめガイドボランティアの方に伝えておく。</p> <p>●ガイドボランティアの方の話</p> <p>◇囲炉裏で暖まりながら話を聞くなど、昔の暮らしが実感できるような体験ができるように依頼しておく。</p> <p>◇土間が広くとってあるのは、農作業をした後の土のついた服装で入って来られるためであることや、夜なべ仕事をするための空間が必要であることなど、昔の人々の暮らしぶりが想像できるような説明を依頼しておく。</p> 

## 8. 博物館と学校の連携

- ① 博物館の利用について ・ ・ ・ 近隣に郷土資料館がない場合  
都筑古民家園で土間・囲炉裏などの様子を観察、調査すると良い。  
横浜市歴史博物館「体験コーナー」では昔の道具調べ活動ができる。  
体験コーナーでは、氷冷蔵庫・たらいと洗濯板・炭火アイロンと  
昭和の頃の団欒・井戸のポンプ・石臼などがある。 (右図)



- ② 書籍の活用

児童向け「ちょっと昔を探してみよう」

編集 発行 横浜市歴史博物館 (500 円)

児童向け「不思議な形の道具たち～洗濯と虫退治～」

編集 発行 横浜市歴史博物館 (300 円)



- ③ ここでの学習指導のポイント及び古民家園ボランティアさんへの確認

道具の使い方を詳しく調べていくことから、昔の人々の暮らしぶりに迫っていけるようにする。

例：本時でのガイドボランティアの方の話のポイント

- ・ かまどが置いてある土間の様子と農作業をした後の服装で作業ができるようにしてある工夫について話をしてもらう。
  - ・ 囲炉裏の周りは暖かく、家族団欒の場になっていたことの説明をしてもらう。また、天井は煙が出ていけるような造りになっていることなど、家全体の造りの工夫についても話をしてもらう。
- ※洗濯について学習している場合は、井戸の説明や洗濯の様子について話してもらうなど、ポイントを絞った説明をしてもらえるとよい。

- ④ 市内に点在する古民家園の紹介・活用

近隣にある古民家を見学することで、主屋のつくり、長屋門や土倉のつくり、かまどや囲炉裏のつくり等をじっくりと観察できると学習効果があがる。



鶴見区 みその公園横溝屋敷

見つけてみよう。

都筑以外の横浜市内の古民家

- ① 都筑区仲町台「せせらぎ公園古民家」
- ② 鶴見区「みその公園横溝屋敷」
- ③ 磯子区「根岸なつかし公園旧柳下邸」
- ④ 戸塚区舞岡「舞岡公園小谷戸の里」
- ⑤ 栄区「本郷ふじやま公園古民家」
- ⑥ 泉区下飯田「天王森公園いずみの館」
- ⑦ 瀬谷区阿久和「長屋門公園古民家」
- ⑧ 緑区新治「にいほる里山交流センター」



戸塚区 舞岡公園小谷戸の里



泉区 天王森公園いずみの館